

路線バス維持確保のための補助金

少子高齢化、市民のマイカー中心の生活スタイルなどを理由に、本市の路線バスの利用者の減少傾向は続いています。特に山間部にある名栗地区、原市場地区、南高麗地区では、路線バスが唯一の公共交通であり、路線バスを維持するため市では、湯の沢線、名栗車庫線、中沢線、間野黒指線は、路線バス運行経費の赤字分に対して補助金を交付しています。しかしながら、補助金は、赤字額の満額ではないことから、運行を続けていくことは大変厳しい状況となっています。このような路線バスの経営状況は、本市に限ったことではありません。

都道府県や市町村が運行する公営のバスの約9割、民間事業者の運行する約7割が赤字経営であり、行政からの補助金などにより維持確保に努めてはいますが、年間約2,000kmの路線が廃止されていると言われています。

また、路線バスの運行を継続するための補助金制度は、市だけでなく国や県にもあり、本市では国際興業バスの「名郷線」が国・県の補助金、イーグルバスの「日高・飯能線」が国の補助金を活用して、路線の維持確保に努めています。


国の補助金については、①平成13年3月31日を基準に複数市町村にまたがるもの、②1日当たりの運行回数が3回以上、③1日当たりの輸送量（乗客）が15～150人、などといった条件があり、赤字路線であれば補助金が交付されるというものではありません。同様に県、市にも補助金対象路線の条件があります。また、平成26年度における埼玉県の補助金が補てんされている県内のバス路線は10路線であり、飯能市をはじめ、全て山間部を運行する路線となっています。そして、国、県の補助金が活用できないバス路線は、地元自治体からの補助金、又は事業者の努力により運行されているのが現状です。

財政的支援をすればバスは維持確保できる？

行政からの補助金により、赤字のバス路線は維持されていますが、行政からの補助金があれば路線は維持されるのでしょうか？

埼玉県内の路線で、地元自治体からの補助金により維持確保されてきたバス路線が、今年の春、廃止されました。運行事業者に状況を確認すると、行政からの補助金路線ではありましたが、利用者の減少は著しく、1日の利用者が0人といった日もあり、少数であれ、利用される方はいましたが、利用状況を鑑み、やむを得ない判断としてこの路線を廃止することを決定したとのことでした。

このことは、行政が補助金を出しているからといって、路線が維持確保されるということではない事例と考えます。

名栗・原市場方面を運行している湯の沢線、名郷線、名栗車庫線は、合計で1日1,000人を超える利用者です（ただし、路線を維持するための利用者としてはまだまだ足りません。）。


市では、利用者も多く、地域にとって必要である路線であるからこそ補助金を交付して維持確保に努めています。

路線バスを維持確保するためには、多くの方の利用が求められています。

公共交通ニュース vol. 32 2015. 11. 9

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

清流保全啓発ポスターをバス車内に展示しています

国際興業バスは、1959（昭和 34）年以来、白地と緑を基調とした塗装のバスを運行していますが、1950（昭和 25）年に国際興業バス発足した当時のライトパープルとマルーンの塗装を復刻したバスが飯能営業所エリアで運行されていることをご存知ですか？

このバス車内に河川美化・清流保全をテーマにしたポスターを 12 月 13 日（日）まで展示しています。展示しているのは、市内の小学 1 年生から 6 年生 23 人の作品です。

ポスターを作成した家族の皆様だけでなく、普段バスに乗られない方も、この機会にぜひ、このバスをご利用していただき、小学生 23 人の素晴らしいポスターをご鑑賞ください。

なお、土曜・日祝ダイヤは次のとおりです。

飯能駅 14：45→名郷	名郷 15：50→飯能駅
飯能駅 16：57→西武飯能日高	西武飯能日高 17：25→飯能駅
飯能駅 19：17→名栗車庫	名栗車庫 20：15→飯能駅
飯能駅 21：17→上赤沢	上赤沢 21：50→飯能駅



このバスです

※車両運用上の諸事情により、平日ダイヤでの固定運行、ダイヤの公開はしていません。

※点検、故障、貸切運行など、利用状況により他の車両で運行する場合があります。

※運行については、国際興業バス飯能営業所（電話 973-1161）にお問い合わせください。

秋は国際興業バスに乗って名栗に行こう！

秋の名栗地区は、楽しいイベントが盛りだくさんです。また、国際興業バスに乗って来場された方、先着 1,000 名様に「ヤマノススメ」ポストカードをプレゼントしています。

ポストカードは、各イベントで、それぞれ違うカードを用意しています。

ポストカードは、各イベント会場の本部で配布しています。なお、バス車内では配布していませんのでご注意ください。

※名栗地区へは、飯能駅北口 2 番のバス乗り場からご乗車ください。

○なぐり紅葉まつり【11月15日（日）10：00～15：00】：連慶橋バス停下車

白雲山鳥居観音を会場に、野点や模擬店などが行われます。鳥居観音「仏跡と紅葉をめぐるハイキングツアー」も開催します。（お問い合わせ：鳥居観音 042-979-5051）

○名栗湖国際野外美術展【11月23日（月・祝）まで】：名栗湖へは「河又名栗湖入口」または「さわらびの湯」バス停下車
鳥居観音から名栗湖周辺にかけて、紅葉に彩られた名栗の風景をキャンバスに見立てて美術作品が展示されています。（お問い合わせ：カヌー工房 042-979-1117）

○さわらびの湯秋まつり2015【11月23日（月・祝）10：00～15：00】：「さわらびの湯」バス停下車
清流の恵みメニュー、山の恵みメニューなど C 級グルメ大会が開催されます。

秋のお散歩マーケットのお知らせ

秋のお散歩マーケットが【11月22日（日）9：00～15：00】に開催されます。山間の集落にある黒指・細田地区で、家の軒先に季節の農作物や手づくり品が並べられ、山道を歩きながら買い物や地区の方々とのふれあいを楽しむイベントです。

飯能駅北口 1 番のバス乗り場から「間野黒指行き」に乗車し、終点「間野黒指」で下車してください。なお、駐車場はありませんので車での来場はご遠慮ください。

国際興業バスもいろいろ取り組んでいます。

平成 23 年に国際興業バスが、飯能営業所の撤退について具体的に検討をはじめたことを飯能市に申し出たことを覚えていますか？その後、市の補助金の増額や利用者の増加に向けた取組を行うなどの条件はありますが、山間地域に住む方々の路線バスの役割や必要性を受け入れていただき、運行は継続されました。しかしながら、利用者の減少傾向は依然続いています。

国際興業バスでも、補助金に頼るのではなく、独自で利用者の増加や利便性の向上に向けて様々な取組を行っています。

今回は、その取組の主なものを紹介します。



①飯能ワンコインゾーンの実証運行

昨年 5 月から 1 年間、飯能駅～市役所前間、飯能駅～飯能河原間、飯能駅～飯能高校間は大人 100 円、こども（小学生）10 円で乗車できます。この実証運行については、1 年延長し、来年の 5 月まで実施しています。

②双柳市営住宅線の改編

今年の 10 月 15 日に新光線（飯 13 系統）を廃止し、新たに市営住宅から椿本チエイン、双柳地区行政センター等を結ぶ双柳循環（飯 15 系統）を 10 月 16 日から運行しています。

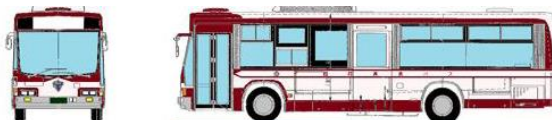
従前から市営住宅線を利用されていた方には、運行距離・時間が増え、ご不便をおかけしていますが、新たな住宅地や地区行政センター前を運行することにより、バス利用者もこれまでよりも増えているように感じています。



③行楽シーズン、お散歩マーケットでの臨時便運行

春、秋の行楽シーズンには、多くの方がバスで名栗地区を訪れます。時間帯によっては、1 台のバスには乗りきれないほど、飯能駅や名栗のバス停に人が並びます。そのようなとき、利用者の「乗せ残し」がないようバスを増便しています。

また、山間の集落にある黒指・細田地区の、「お散歩マーケット」では、市内外から多くの方がバスを利用して参加します。バスの利用者は往復で 1,000 人を超えるため、通常ダイヤでは対応できないことから、毎回臨時便を運行していただいています。



④ギャラリーバス

1950（昭和 25）年に国際興業バス発足した当時のライトパープルとマルーンの塗装を復刻したバスをギャラリーに見立て、写真や絵を展示していただいています。

現在は、「飯能を愛し、飯能を題材に描き続けてきた画家」故小島喜八郎氏が描いた飯能のスケッチ画を写真で展示しています。

路線バスを地域で安定的に運行していくためには、多くの方に利用していただくしかありません。「使えるときはバスを使う」の気持ちで積極的にご利用ください。

「もしバスがなくなったら・・・」と考え、行動してみてください。

公共交通ニュース vol. 34 2016. 1. 20

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

マイカーと路線バス、どちらがお得でしょうか？

バスに乗らない理由として「運賃が高い」ことが必ず挙げられます。自動車での移動と比べて本当にバスの運賃は高いのでしょうか？

マイカーをガソリン 1ℓ 当たり 100 円、燃費 10 km/ℓ、駐車場料金 1 日 500 円（1 か月 10,000 円）として比較してみます。

【①飯能駅～小瀬戸バス停間】

この区間は、運行距離 7.14 km、大人バス運賃は 310 円（現金）で、往復 620 円です。

マイカーの場合、片道 0.71 ℓ、往復で 1.42 ℓ使ったとすると、ガソリン代が 142 円、駐車場料金と合わせて 642 円になります。バスの方がわずかですがお得となります。

【②さわらびの湯経由の飯能駅～名栗車庫バス停間】

この区間は、22.46 km、大人バス運賃は 680 円（現金）で、往復 1,360 円です。

マイカーの場合、片道 2.25 ℓ、往復で 4.5 ℓ使ったとすると、ガソリン代が約 450 円、駐車場料金と合わせて 950 円になります。マイカーがかなりお得のように見えます。

しかしながら、マイカーの場合は、まず購入費用が必要となります。仮に 240 万円でマイカーを購入し、10 年間使用するとした場合、1 年当たりの車両代は 24 万円、1 日当たり約 657 円になります。ガソリン代、駐車場料金に購入費用を合わせると 1 日当たり 1,607 円になります。そのほか、保険代や維持費（車検代、修理費、自宅に駐車スペースがない場合は駐車場代など）も必要となります。また、自分で運転することは交通事故のリスクを常に背負うこととなります。

ガソリン代、駐車場料金の比較だけでなく、車両購入費や維持費等トータルで比較するとバスの方がお得かもしれません。さらに、自宅からバス停、バス停から目的地まで歩くことで、健康づくりにもつながります。

2016 年は「環境にやさしく」、「家計にやさしく」、「手軽に健康づくりができる」バス利用にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



「小島喜八郎氏が描いた飯能の風景」を展示しています。

国際興業バスのご理解とご協力により、国際興業バスが発足した当時のカラー（ライトパープルとマルーン）のバスをギャラリーに見立て、写真や小学生のポスターなどを展示しています。12 月中旬から“飯能を愛し、見つめ続けた画家”小島喜八郎氏が描いた飯能の風景画を 20 数点展示し、バス利用者を楽しませています。

小島喜八郎氏が対象としたものは、何気なく普通には見過ごされてしまうもので、一貫して自分の生活圏にモチーフを求めてきました。昭和 52（1977）年頃から飯能各地の風景の水彩画を描きはじめ、何点描いたか本人でも覚えていないほどだと言います。今回は、飯能市郷土館で收藏している作品から飯能駅周辺、市営住宅バス停周辺、東飯能駅西口周辺、中郷バス停、東銀座通りなど 20 数点を展示しています。

国際興業バスをご利用いただき、ぜひご覧ください。土日祝日の運行ダイヤは国際興業バス HP で公開していますのでご確認ください。



利用者が少なくなるとバスの運行は維持できません。廃止されてからバスの必要性に気づいても遅いです。

「これからの公共施設と地域公共交通のあり方に関する市民懇談会」の 地域公共交通に関する主な自由意見・ご感想(アンケートより抜粋)

※カッコ内は会場名(地区行政センター)

精明・川崎地区及び中藤上郷から下郷地区に是非コミュニティバスの運行をしていただきたい。市内への通勤・通学・病院等への通院のため、元加治駅の南口開設にもっと力を入れてください。(加治東)

J R川越線の本数を増やしてください。双柳循環(路線バス)ができて大変便利になり良かったです。時刻表を広報等に載せていただきたい。(双柳)

名栗、原市場、南高麗、精明(双柳、富士見を除く)が大変だと思う。これらの地域の中に、拠点を作り「路線の減少」とか工夫が必要。タクシー会社と何らかの協定を結べないだろうか?(富士見)

現時点での心配事は、①利用者の減少で駅が廃止にされないか。②高齢になっていくので、いつまで運転できるか。(東吾野)

万が一の事故を考えると、運転サービスへのボランティアに踏み出せない人は多いのではないだろうか。どんな支援を行政が行っているのか具体的にアナウンスしてみると変わるかもしれません。(東吾野)

人口減少と少子高齢化は、公共交通の維持に関して多大なダメージを与える問題だと思います。利用者の減少はどうしても避けられないものなので、現状をどれだけ維持できるかを念頭に考えていかなければならないのではと感じました。(精明)

ワンコインゾーンの取組があり、バスを利用しやすくなった。気軽に使えるようになり、とても有り難く感じている。交通費が出ない距離だが、この金額だと払うことができる。お店とバスのタイアップができないか。バスを利用してお店に出向いた方へポイント等(飯能中央)

現在、路線バスについては、利用者が少ない路線等も大型のバスが運行しているので、無駄な部分がある。本線の区間を決め、本線は大型のバスを運行し、利用者が少ない路線等は小回りの利く小型のバスを運行して本線に連結させるようにしたら良いと思う。(第二区)

南高麗→山王峠経由の検討をお願いしたい。特に、夕方から夜便(南高麗)

できる限り路線バスを利用したいと考えている。飯能駅南口→ひかり橋→下畑→間野黒指、このようなルートもできないだろうか。ご検討ください。(南高麗)

前ヶ貫、矢嵐地区には足がない。マイクロバスなどのコミュニティバスがあれば助かるのですが、数年後の高齢化を考慮すると、丘陵地であるので、実に不安になる。(美杉台)

たすけあい吾野において、市から車を借用し、買い物等の利用に運行して、運転手がボランティアとして活動しているが、高齢化等により運転手の確保が課題である。ボランティア活動等についての人材を育成してほしい。(吾野)

吾野地区の場合、鉄道はあるが、駅までの移動交通手段がなく、遠い人は自宅まで約7kmある。これらの人(高齢者)の交通手段をすぐにも検討してほしい。スクールバスの利用方法も検討してほしい。(吾野)

名栗地区のバス料金を安くしていただけると有り難いです。(名栗)

今ある既存の鉄道、路線バスは、是非維持していただきたい。地域の交通を公と民(住民主体)に分け、それぞれの役割を明確にする。行政は公を担う(鉄道、バス、命に係わる交通、学校への通学など)住民は、買い物や地域活動に伴う交通を担う。その際、車輛の提供や保険代を行政が、運転ボランティアなどの確保を住民が分担する。「ここに住み続けていいんだよ」というお墨付きを。(原市場)

①西武線飯能駅周辺の踏切について、ストップしている時間が長い。→高架が必要②東飯能駅周辺について、八高線踏切、西武線踏切と続き、動かない時間がある。→バイパスができたが、解消されていない。③区画整理事業の早急な終了で、道路の流れがスムーズになる。(加治)



貴重なご意見をありがとうございました。市民の皆様のご意見を踏まえまして、今後の公共交通のあり方について検討いたします。

リニューアル



飯能市公共交通ニュース

Vol.35 2017. 2. 1

地域でまもり！地域で育てる！公共交通

地域での生活を続けていくために、地域公共交通は欠かせないライフラインです。現在、市では、平成26年3月に策定した「飯能市地域公共交通基本計画」に基づき、地域の皆様と事業者とともに公共交通の維持・確保や利用促進事業等に取り組んでおります。

しかし、人口減少や少子高齢化の影響により、路線バス及び鉄道の利用者は減少傾向にあります。また、市内には交通不便地域や交通空白地域もあり、移動交通手段の確保が課題となっております。

このようなことから、それぞれの地域内を運行している既存の公共交通を維持確保していくほか、山間部や路線バスが運行されていない地域の新たな移動交通手段について、地域の方々、事業者、そして市が一体となって検討し、それらを持続可能なものとしていくことが重要となります。

これからも、積極的に公共交通をご利用いただくとともに、地域に必要な移動交通手段と一緒に検討していただきますようお願いいたします。

地域公共交通を取り巻く現状・課題(路線バス)

路線バスについては、少子高齢化や自家用車の保有台数の増加などの影響により、利用者が減少しております。本市を訪れる観光客数は増加していますが、通勤・通学等の日常生活での利用者数の減少を埋めるには至っておりません。平成28年6月に、国際興業バスの一部路線では、不採算路線の輸送力調整として大幅な減便が実施され、路線沿線住民のおでかけが確保できないといった問題も少なからず出ております。



国際興業株の「飯能営業所の存続及び今後の同営業所の運営に関する協定書」を締結しました！

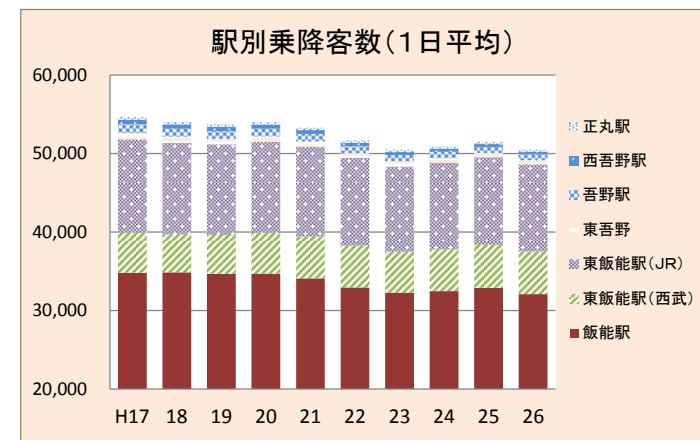
現在、平成26年4月1日から平成29年3月31日までを期間とする「飯能営業所存続及び今後の同営業所の運営に関する協定書」が、飯能市と国際興業株式会社において締結され、国際興業バスの運行が継続されております。

なお、平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3か年の運行継続についても、平成28年10月27日に協定書を締結いたしました。これにより3年間の営業所の存続は確保されますが、利用状況等によっては、一部路線の減便・廃止もあり得るものとなっております。

地域公共交通を取り巻く現状・課題(鉄道)

鉄道については、東飯能駅を除いた全ての駅で乗降客数が減少しており、平成17～26年度までの10年間の増減率は、山間地域の全ての駅で20～40%程度と大幅に減少しております。しかし、西武池袋線の東飯能駅については、増減率が7.8%と増えております。

今後は、引き続き、鉄道の相互乗り入れや輸送力増強の促進、駅周辺の良好な交通環境の確保など、市民の利便性向上と、まちの機能性向上に向けた取り組みを進めてまいります。



要望活動を行っています！

八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会、J R川越線整備促進協議会、八高線電車化促進期成同盟会に参画し、J R東日本旅客鉄道に対して整備促進等の要望を行っています。

《主な要望内容》

・八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会
J R東日本八王子支社(8月2日実施)
「八王子～高麗川駅間(南線)の早期複線化」
「八王子～大宮駅間の東京の電車特定区間」など

(今後の実施予定)

・J R川越線整備促進協議会
J R東日本八王子支社・本社・大宮支社(1月26日予定)
・八高線電車化促進期成同盟会
J R東日本八王子支社(2月20日予定)
J R東日本高崎支社(2月21日予定)



発行/飯能市市民生活部生活安全課交通政策室
Tel:042-973-2126(直通) E-mail:kotsu@city.hanno.lg.jp

「これからの公共施設に関する市民懇談会」 における市民の皆様のご意見

平成 28 年 11 月 25 日から 12 月 17 日にかけて、各地区行政センター（全 13 か所）を会場に「これからの公共施設に関する市民懇談会」を開催しました。

公共施設の現状や課題、今後の方向性など全体的な考えを共有し、今後の公共施設のあり方について市民の皆様と一緒に考えていくスタートと位置づけ、計 252 名の方にご参加いただきました。

市民懇談会での主なご意見・アンケートの内容について、市民の皆様にお知らせします。

市の問題として、このまま放置すれば老朽化が進み、崩壊を招くことになると思感した。早急に課題解決に向かう必要があると思った。

人口減少等による公共施設の適正化は難しいと思うが、高齢者対応、教育的問題を含め、管理費・人件費削減のためにも実践してほしい。

今後の人口構成を考えれば、集約化、スリム化、複合化は避けて通れない。ただ、地域が広い特性を考慮すると、地域の拠点となる施設は守ってほしい。

地区行政センターは地域活動の拠点施設である。必要性の高い公共施設は維持管理して残していくべきである。



各地区にひと通りの施設の配置ではなく、広域的な施設配置をしていかなければいけないと思った。

公共施設マネジメントについて、今後、民間活用も必要になってくると思う。

地区行政センターを小学校に入れるなど、施設の積極的な利用方法を検討してほしい。

稼働率を参考にして地区行政センターの耐震化を優先的に行ってほしい。

公共施設の耐用年数は、建設時から分かっていたことなのに、なぜ今になって公共施設問題が出されているのか。

今後、施設の利用については受益者負担を検討してはいかがでしょうか。

貴重なご意見をありがとうございました。

現在策定中の「飯能市公共施設等総合管理計画」においては、市民の皆様のご意見を踏まえまして、今後の公共施設等のあり方や方針等をお示ししたいと考えています。計画（素案）の公表につきましては、2月1日号「広報はんのう」をご覧ください。

【お問い合わせ】飯能市財務部管財課資産経営室

●電話 978-5027（直通）●ファックス 974-6770●メールアドレス sisankeiei@city.hanno.lg.jp

「これからの地域公共交通に関する市民懇談会」における市民の皆様のご意見

懇談会では、各地域におけるこれからの地域公共交通はどうあるべきかについて、市から現状や課題をお伝えするとともに、ご参加いただいた皆さまからたくさんのお考えやご意見等を頂戴しました。その一部をご紹介します。

ご意見・ご要望の内容（要旨）	回答内容（要旨）
高齢者の運転による自動車事故が全国でも問題となっている。免許を返納しても問題なく他の交通手段の利用ができ、何か特典があれば返納したいという方も多いのではないかな。	高齢者の自動車事故については、市としても大きな問題だと考えている。現在、埼玉県警は、免許証の返納促進策として「運転経歴証明書」を持っている方が、協賛店等で特典を受けられる制度を実施しているが、市としても、問題の解決策を検討していきたいと考えている。
以前、自治会から元加治駅南口開設に関する要望書を市長に提出したが、その後フィードバックがない。今どうなっているのか伺いたい。	元加治駅については、駅、北口の駅前広場、駅南側ロータリーが、本市と入間市の 2 市にまたがっているため、本市の考えだけでは事業が進められない。現在、本市、入間市、西武鉄道㈱の 3 者において、元加治駅南口の早期開設に向け定期的に協議を行っている。
高齢者だけでなく、全ての住民にとって利用しやすい公共交通を考えていただきたい。	今後も既存の公共交通の維持・確保に努めながら、それぞれの地域の皆さまが安心して地域での生活を続けられるよう、既存の公共交通と連携した新たな交通手段を皆さまと一緒につくっていくことが重要だと考える。
精明東部の公共交通はないに等しい状況なので、高齢者の移動手段をどのように考えているのか。	路線バスは、利用がなければ減便や廃線は免れない。精明東部に限らず、市内の交通不便地域や交通空白地域については、利用したい方が利用できる移動交通手段でなければ意味がないと考える。今後、アンケートや意見交換、検討会などの中で必要な移動交通手段を皆さまと一緒に考えていきたい。
路線バスの運行本数が減少した地域、また、移動交通手段がない地域において、地域内を走るスクールバスに住民を混乗させることができないか。	スクールバスへの住民の混乗については、「飯能市地域公共交通基本計画」の中にも活用の検討を掲げており、現在、教育委員会とともに検討を始めている。スクールバスは、事業者と契約を締結し運行しているため、混乗する場合の課題や問題の整理を行うとともに、地域の方々のニーズ等を把握しながら検討を進めていくこととしている。
民間送迎バスの空席を活用して、一般市民も乗車させたらどうか。	既存の社会資源の活用については、法律の縛りもあり難しい状況もある。しかし、すでに実施している自治体もあるので、活用の可能性について調査を進めたい。
福祉センターのバスがもっと柔軟に活用できるようにならないか。走っているところを見かけるが、乗っている人が本当に少ない。	他の地域においても、同様のご意見を頂戴した。現状では、自家用車としてセンター利用者の送迎に限った利用となっているため、その他の社会資源の活用と併せて検討を進める。
市では、事業者に対し補助金を交付しているが、その分の金額を、運賃補助という形で利用者に対し交付した方が利用者増につながるのではないかな。	ご意見として承らせていただきたい。今後、様々な面から研究し数字的根拠を出したうえで、市民、事業者、市にとって最も効果的な補助金の支出を検討していく。
これまで以上に人口が減少した場合の対策ばかりではなく、今、市が推進している定住促進策を各地域で展開していただきたい。例えば、山間地域に市営住宅を建てる、調整区域の枠を外すなど。	市営住宅の新設、調整区域の枠を外すということについては、現状では大変難しいと考えるが、ご意見としてそれぞれの担当部署に伝える。お質しのとおり、人口の増加は市としての喫緊の課題であるため、今後も、定住促進や交流人口の増加について、さまざまな取り組みを進めていく。
高齢者にとって、大きな荷物を持って路線バスに乗るのは大変なこと。買い物したものをまとめて地区行政センターなどに届けてもらうようなシステムができないか。高齢者が、気軽に路線バスに乗れるよう検討していただきたい。	お買物宅配サービスについては承知している。調査はしていないが、そのようなサービスを実施する場合、どのような課題があり調整が必要か、また、ニーズがどのくらいあるかについて、今後、事業者とともに研究していきたい。
65 歳以上の方が国際興業バスをフリーに利用できる「彩京のびのびバス」を活用している。大変ありがたい。もっと大勢の方に利用していただければ、バスの利用者増にもつながるのではと考える。	市としても、路線バスの運行している地域の住民の方に継続してバスを利用していただく方策の一つとして、市の広報紙や地区行政センターだよりへのお知らせの掲載などを実施している。今後も継続して路線バスの利用促進に努めていく。



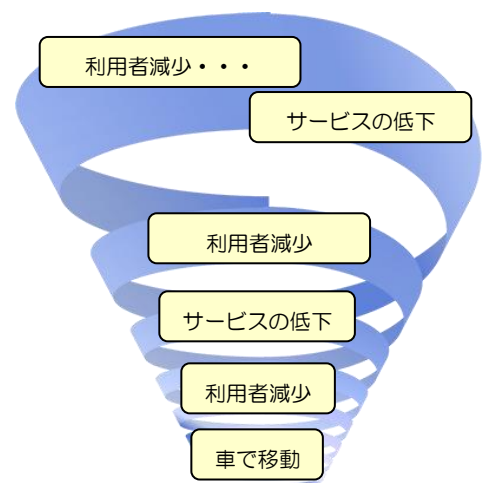
公共交通をみんなで乗り支えよう！！未来のために、今できること

鉄道や路線バスが運行していることは「当たり前」ではありません。車を運転することができない高齢者の方や子ども達にとっては、通学、通院、買物などに必要な移動手段の確保が必要です。お住まいの地域に公共交通がなくなってしまうらどうなるのでしょうか？自分で運転できない方は、外出することが難しくなります。学生が通学するためには、親が駅や学校まで送らなければならなくなります。観光資源が豊富で魅力のある地域であっても、観光客が自家用車以外で訪れることができなくなります。地域での生活がこれまで以上に不便になり地域での生活を続けていくことが難しくなるかもしれません。

もしものことを想像し、地域の活性化やお住まいの地域の未来のためにも、日ごろから公共交通の利用にご協力ください。

今は車が運転できるから乗る必要がない方、また、運転しなくなったら公共交通を利用したいと考えている方、早めの乗り換えをお勧めします！！

まずは、身近なところから、鉄道や路線バスで「おでかけ」してみませんか？



公共交通がさらに減少する負のスパイラルへ・・・

『名栗でわくわく！親子で川遊び体験』が開催されました。

去る7月2日（日）、「わくわく名栗クラブ」の主催する、親子で川遊び体験イベントが、名栗河川広場にて開催されました。「わくわく名栗クラブ」は、国際興業バスの撤退問題を契機に設置された団体であり、名栗地区で活動する団体や個人、そして行政が一体となって名栗地区を一層活性化させる方策について検討を行い、さまざまな取組を実施しています。この団体の大きな目的が路線バスの利用促進となっており、路線バスを使った名栗地区への誘客を推進しています。



実施された川遊びは、豊島区、狭山市、入間市、そして飯能市の小学生を対象としてチラシを配布し参加者の募集を行いました。毎年、受付から数日でキャンセル待ちが出るほどの人気イベントとなっております。本年度も、177名の方がイベントに参加され、飯能駅からさわらびの湯まで国際興業(株)の路線バスを使って向かい、河川広場でマスのつかみ取り、タイヤチューブで川下り、竹の水鉄砲作りなど、都会では味わえない体験を楽しんでいました。また、遊んだ後には、のらぼう菜ごはんとかレー、マスの塩焼き、茹でジャガイモなどが振舞われ、美味しい食事と地元スタッフのあたたかさに大満足の様子でした。

このような地域の皆さんの取り組みが、公共交通を守ります。

飯能市地域公共交通対策協議会を開催しました。



市では、路線バスの利用者の減少、公共交通が不十分な地域や交通空白地域など、各々の地域における公共交通に関する諸課題を解決するため、まちづくりや観光などの関連分野と強く連携しながら「持続可能な公共交通」を実現していくことを目的として、「飯能市地域公共交通対策協議会」を法定協議会として、本年3月に設置しました。

本年度、本協議会では、地域にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにする「地域公共交通網形成計画」の策定を目指しており、地域公共交通についての現状や課題を把握するためのさまざまな調査を実施することとしています。

今後も、本協議会の内容については、市HP等で公表し進めていきます。

国際興業株式会社の運行する一部の系統に2つの停留所が新設されました！！

国際興業(株)は、バス路線に対する新たな需要や利用者のニーズに的確に対応することを目的として、下記の通り2つのバス停を新設しました。是非、ご利用ください！

「エコス前」停留所

(湯の沢線、名栗車庫線、名郷線、上赤沢線：上赤工～赤工間)

※商業施設の前にバスが停まるのでお買い物に便利です。



「美杉台六丁目」停留所

(間野黒指線：グリーンセンター～赤根峠入口間)

※蕎麦や美杉台6、7丁目から市民会館、図書館、東飯能駅方面に行く場合に便利です。



鉄道の利便性向上に向け 要望活動を実施しました！

八高線八王子・高麗川間複線化促進協議会では、八高線の利便性の向上に向け、JR 東日本八王子支社に対して要望活動を行いました

主な要望内容は次の通りです。

◎八高線八王子・高麗川間複線化早期実現

○東飯能駅のみどりの窓口の営業再開

○観光PRの協力

○東飯能駅構内に観光PRコーナーの設置 等

今後も、継続して利便性の向上を目指します！！

○市内路線バス事業者のご案内○

市内路線バス交通の情報が検索できます

バス停、時刻表、運賃、運行状況などの情報をスマートフォン、携帯から検索できます。

国際興業バス	U R L	http://5931bus.com/	
	飯能営業所	所在地 飯能市柳町10-6 電話番号 042-973-1161	
西武バス	U R L	http://www.seibubus.co.jp/	
	飯能営業所	所在地 飯能市美杉台5-4-1 電話番号 042-972-4123	
狭山営業所	所在地	狭山市柏原391-2	
	電話番号	04-2955-3730	
イーグルバス	U R L	http://new-wing.co.jp/	
	川越営業所	所在地 川越市笠幡173-1 電話番号 049-233-3711	

発行：飯能市役所生活安全課交通政策室

飯能市大字双柳 1 番地の1

TEL：042-973-2111 内線 614

E-mail：kotsu@city.hanno.lg.jp

公共交通

news

地域で守り、地域で育てる！公共交通

2018.8.20 発行



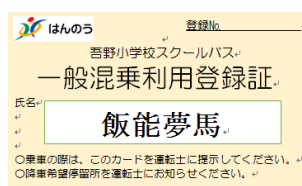
吾野小スクールバスの相乗り、はじまりました！

吾野

5月16日から吾野小学校スクールバスに地区の住民の方も相乗りができる「混乗制度」の実証実験が始まっています。吾野地区には西武線の鉄道駅がありますが、路線バスがないため、駅までが遠い地域に住んでいる方は以前からおでかけに不便な状況でした。

地区内を2コースで運行

スクールバスは、北川地域を走るコースと南川地域を走るコースの2コースあり、各地域の住民の方にご利用いただいています。スクールバスの運行日のみ、登校便と下校便の1日2～3便運行しています。利用方法は、あらかじめ市に利用申請をし、最寄りのスクールバス停留地点から乗車します。吾野地区に在住、または住居がある方で、自分でバスの乗降ができる方は申請できます。8月1日時点で、103名の方にご登録をいただいています。



△利用登録証



△周知用リーフレット

“相乗り専用” バス停留地点

今回の混乗制度では、今までのスクールバスの停留地点のほか「吾野駅（法光寺駐車場）」と「東吾野医療介護センター」の2か所を停留地点として設けています。これは昨年度の市民アンケートの結果、吾野地区の方の利用が多い公共施設を設定しています。運行業務を担当している国際興業バスほか、多くの関係者のご協力で設置が実現しました。



△東吾野医療介護センター 停留地点

実証実験は年度末まで

実証実験は来年の3月26日まで実施します。平成31年4月1日から吾野小を含めた吾野・東吾野地区の小学校3校が統合になる予定です。来年度のスクールバスの混乗については、実証実験の結果を基に、統合後のスクールバスの運行等を考慮しながら検討していきます。吾野地区の方は引き続き、積極的にスクールバスをご利用ください！



間野黒指線、一部ルート変更とダイヤ改正

飯能大河原工業団地工業会からの要望により、5月16日から国際興業バス・間野黒指線の一部の便が大河原工業団地内を運行するようになりました。これにより、西武バスの飯能駅南口からの便に加え、東飯能駅からも工業団地まで路線バスでのアクセスが可能になりました。また、それに伴い一部ダイヤ改正が行われました。

起点	飯能駅	間野黒指
終点	間野黒指	飯能駅
6	57	
7		30
8	35	
9		15
10		
11	40	
12		20
13		
14	40	
15		20
16	05	40
17		
18		
19		

起点	飯能駅	間野黒指
終点	間野黒指	飯能駅
6		
7	6	44
8	35	
9		15
10		
11		
12		
13		
14	40	
15		20
16	05	40
17	30	
18		6
19		

△赤字が大河原工業団地経由便



系統：飯 11-2

系統：飯 11



バス路線の維持は地域から！“地域之力”とコラボレーション！

飯能市内の山間地域では少子高齢化が進み、路線バスの利用者も減少しています。しかしながら、そんな逆境に負けず、各地域では積極的に市外から人を呼び込み、地域の活性化と路線バスの利用増に繋げる活動が行われています。今回は、バス路線の維持を目的としている代表的なイベントをご紹介します。

南高麗

This is エコツーリズム！

南高麗での「春のお散歩マーケット」

5月6日（日）に南高麗・細田地区で開催された春のお散歩マーケット。今回で27回目を数え、今や飯能市のエコツーリズムの代名詞ともいえるイベントです。人気の秘訣は、豊かな自然と独特な地形を有する細田地区を練り歩く爽快感と、地元の人たちのバリエーション豊かな手作り品の数々。今年は昨年より143人多い、1,239人もの方にご来場いただき、国際興業バス間野黒指線も多く臨時便運行で対応いただきました。



△山間にある民家を訪ね歩きます。地元の方のおもてなしも好評！

圧倒的な自然で都会っ子たちを魅了。「名栗でわくわく！川遊び体験」

名栗



△多くの親子で賑わいました。毎年キャンセル待ちが出るほど大人気！

7月1日（日）に名栗河川広場で行われた川遊びイベント。豊島区を中心に215人の親子が路線バスを使って来訪し、マスのつかみ取り、タイヤチューブで川下りなど都会では味わえない体験で名栗の自然を満喫しました。また、会場ではマスの塩焼きやふかしジャガイモも振る舞われ、親子の笑顔が溢れました。主催の「わくわく名栗クラブ」は、平成24年の国際興業バス撤退問題を機に地元の人たちの協力で立ち上がった団体です。このイベントだけでなく様々な試みで名栗地区への誘客を仕掛けてます。



発行：飯能市市民生活部生活安全課交通政策室

電話：042-973-2126（直通）

住所：〒357-8501 埼玉県飯能市大字双柳1番地の1

メール：kotsu@city.hanno.lg.jp

公共交通news

地域で守り、地域で育てる！公共交通

2019.3.29 発行



地域のタクシー「らくらく交通」出発進行！

吾野

東吾野

待望の移動サービス開始！

平成30年12月9日（日）、吾野地区・東吾野地区の住民が利用できる地域タクシー「らくらく交通」のサービスが開始されました。両地区は、公共交通が充実していない地域でしたが、このサービスにより両地区在住の住民は、目的に応じたおでかけが叶うことになります！

吾野・東吾野地区の住民が利用可能

飯能市地域公共交通対策協議会において平成30年10月29日に承認され、埼玉県に登録申請。11月27日に埼玉県の登録が完了し、サービス開始に至りました。



△出発式の様子



サービス概要

- 対象者 原則、吾野・東吾野地区にお住みの方（要事前登録）
- 料 金 初乗り（3km未満）500円
以降1kmにつき100円追加
※タクシー料金のおおむね半額程度
- 運行時間 午前8時から午後6時まで
- 運行区域 吾野・東吾野地区内から乗車し、飯能市内であればどこでも降車可
- 車 両 自家用車6台（軽自動車2台含む）
- 運行主体 NPO法人奥武蔵グリーンリゾート（代表 森田美明氏）
事務所：飯能市大字長沢69-1
※詳細はNPO法人まで(090-2677-4362)



飯能駅北口ロータリーが変わりました！

▽1番のりば

メツア直通シャトルバスなどのための飯能駅北口1番乗り場が素敵なデザインが変わりました。メツアや飯能駅におでかけの際にチェックしてみてください！

また、乗り場の混雑回避のため、北口の各バス乗り場に路線別の白線が整備されました。バス利用の際はご協力ください。



△飯能駅北口ロータリー

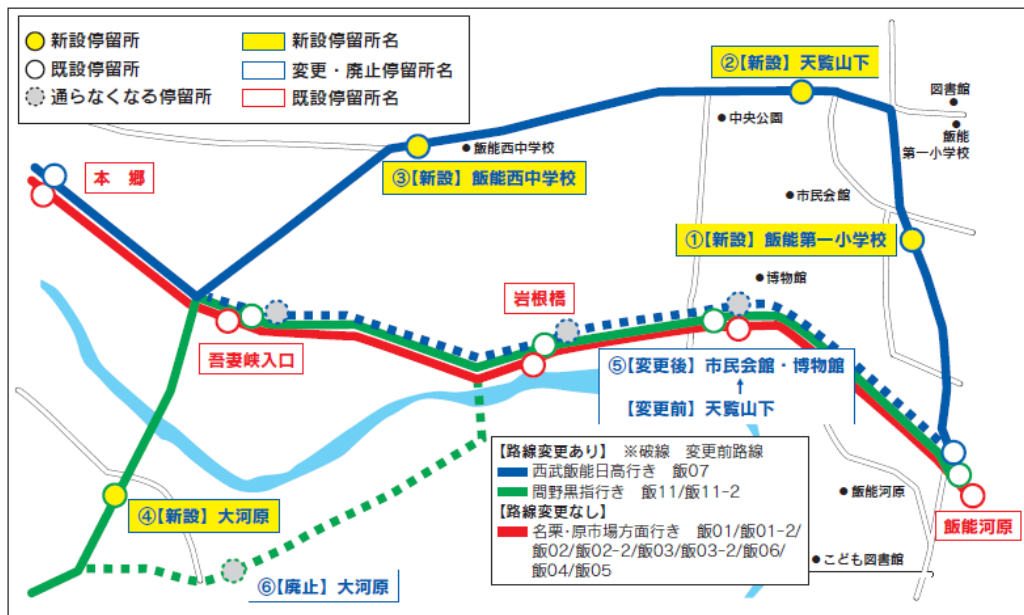


飯能西中、飯能一小、天覧山などへのアクセスが便利に！

国際興業バス（西武飯能日高線）経路変更

飯能大河原線の開通に伴い、国際興業バスの西武飯能日高線（飯 07 系統）及び間野黒指線（飯 11 系統）の経路が一部変更されました。これにより、西武飯能日高線が図のとおり飯能西中学校、飯能第一小学校、天覧山を通る新ルートとなり、アクセスが便利になりました。

※名栗方面のバスの経路変更はありません。



お得な公共交通情報♪

国際興業

65 歳以上の方、国際興業バス全線乗り放題

国際興業バスでは、65 歳以上の方が国際興業バス全線乗り放題となる「彩京のびのびバス」を 4 月 1 日から販売しています。買い物、通院、お出かけにぜひご利用ください。

販売価格 22,000 円（税込）※今回より価格を改定させていただきます。

利用期間 2019 年 4 月 1 日～2019 年 9 月 30 日（半年間）

利用内容 国際興業バス路線の全路線（※高速バス等一部の路線を除く）が乗り放題になる便利な定期券です。

購入に必要なもの 「健康保険証」、「個人番号カード」、「運転免許証」、「現在お使いの彩京のびのびバス」のいずれか 1 点
お問い合わせ：国際興業バス飯能営業所（042-973-1161）

65 歳以上の方限定！
国際興業の
彩京のびのびバス 上期
今回より価格を改定させていただきます
22,000 円（税込）
半年間乗り放題で
2019 年 4 月 1 日②から
2019 年 9 月 30 日②まで
2019 年 3 月 16 日より販売開始！
■お求めは各営業所・案内所窓口まで
●詳しくは車内のチラシまたはホームページをご覧ください。のびのびバス 販売中

西武ハイヤー

「運転経歴証明書」の提示で割引

運転免許を返納した後、申請すると取得できる「運転経歴証明書」を提示すると、西武ハイヤーのタクシーで割引が受けられます。

特典内容 タクシー代金 10%割引 ※他の割引との併用不可。

問い合わせ：西武ハイヤー株式会社飯能営業所（042-972-8180）



配付中！バスルートマップ

市内を運行しているバス路線、鉄道路線すべてを記載した「飯能市バスルートマップ」を発行しています。自宅や目的地の近くを走っているバス路線を調べるのに便利です。これからの新生活におすすめ。公共施設等で配布中！

